

あおぞら組(大間港)が港湾協力団体に指定されました

1月5日(金)、大間港の港湾協力団体として大間町の「あおぞら組」が指定され、1月16日(火)に大間町役場において指定証の交付式が行われました。

港湾協力団体とは、官民連携による港湾の管理体制構築を促進するため、平成28年7月1日の港湾法の改正により設けられた制度であり、港湾管理者(青森県)により指定されるもので、当事務所管内では2例目の指定となります。

「あおぞら組」は、大間町がNHK連続テレビ小説「私の青空」の舞台となったことをきっかけに、平成12年2月に結成されました。大間港に入港するフェリー乗客を歓迎するため、自由なアイデアで大漁旗を振る「旗ふりウェルカム活動」や、訪れた観光客をおもてなしする「オーマの休日」を展開しています。

また、「マグロー筋」Tシャツの開発・販売により一世を風靡するなど、ユニークなアイデアで地域を元気にする活動を行っています。

同日午後、県土整備部の平田港湾空港課長代理より、「港湾協力団体指定証」を交付された菊池良一組長は、「今後も引き続き、精力的な活動を継続していきたい。」と今後の決意について述べられました。



▲ 港湾協力団体指定証交付式の様子



▲ 平田港湾空港課長代理(左)と菊池組長(右)



▲ 旗ふりウェルカム活動の様子



▲ 「マグロー筋」Tシャツ (Yプロジェクト株式会社HPより)